

平成 26 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	04	01	07	0401	環境学習推進事業	
総合計画	分野	暮らし				
	政策	2-1	環境の保全			
	施策	2	自然環境の保全			
目的	環境に対する意識啓発					
対象	環境について学ぶ市民、市内小学生					
意図	環境に対する理解を深め、自然環境を守ることや地球温暖化防止の意識の高揚を図る					
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること						
○環境マイスター派遣事業 ・環境マイスター派遣 18回 参加人数547人 ○水生生物調査事業 ・水生生物調査 10回 9団体 14箇所 参加人数393人 ○環境教育推進事業 ・環境学習チャレンジブックの配布 小学校4校 396部 ○自然生物保護事業 ・ゼニタナゴ保護活動の支援						
市民参画の有無 [対象外]						
市民協働の形態		共催		実行委員会・協議会		
		後援・協賛		補助・助成		
事業協力・協定		委託				
活動指標 (上記「事業概要」に対応)		単位	区分	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)
①	環境マイスター制度	回	計画	33	33	33
			実績	26	18	
②	環境学習チャレンジブック	部	計画	500	500	500
			実績	238	396	
③			計画			
			実績			
成果指標 (上記「意図」に対応)		単位	区分	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)
①	環境マイスターを派遣した研修会等に参加した市民	人	目標	1,000	1,000	1,000
			実績	929	547	
②	自然環境を守る行動を行った市民の割合	%	目標	61.0	63.0	63.0
			実績	56.6	59.9	
③			目標			
			実績			
成果指標の達成度	目標値より高い		概ね目標値どおり	○ 目標値より低い		

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
【H26成果指標の設定根拠】 環境マイスター派遣制度による環境学習の参加者は減少したが、大きい視点で自然環境を守る行動を行った市民の割合は増加していることから、環境に対する市民の意思が高まってきていることが伺えるが、目標値には至らなかった。		
目的妥当性	公共関与の妥当性 <input type="radio"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない	環境に配したまちづくりを行うことは総合計画や環境基本計画にも課題としてとられており、環境について学ぶ場の提供に関して市が関与していくことは妥当である。
有効性	成果の向上余地 <input type="radio"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない	環境マイスターの派遣回数が増えていることから、広報活動等を充実させることにより積極的な利用を働きかける余地がある。
効率性	事業費・人件費の削減余地 <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある <input type="radio"/> どちらも削減余地がない	職員は当該事業を実施するための最低限の事務を行っていることから、人件費の削減余地はない。
公平性	受益と負担の適正化余地 <input type="checkbox"/> 受益機会の見直し余地がある <input type="checkbox"/> 費用負担の見直し余地がある <input type="radio"/> 適正である	環境マイスターの派遣制度は全市民・団体を対象としており、また、環境学習事業についても市内小学生を対象としていることから受益機会は均等であり公平・公正である。
総合評価 …上記評価結果の総括		
環境についての学習する機会を提供したことで、より一層市民が環境を守ることや地球温暖化の防止に対する意識の向上が図られた。		

平成 26 年度 事業説明資料

【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業J-ト	事業名
一般	04	01	07	0401	環境学習推進事業

単位：千円

		25年度 決算額(A)	26年度 決算額(B)	27年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		153	135		△ 18
財源内訳	国・県				
	地方債				
	その他				
	一般財源	153	135		△ 18

事業期間	<input checked="" type="radio"/> 単年度繰返	<input type="radio"/> 期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	--	----------------------------	-----------------

部経営方針における目標

豊かな自然と生活環境を守りきらめくイーハトーブはなまきをつくる

事業開始の背景・経緯

地域における環境保全活動の活性化を図るとともに、環境に対する意識の高揚を図るため事業を開始した。

事業概要

- 環境マイスター派遣事業
 - ・環境マイスター派遣 18回 参加人数547人
- 水生生物調査事業
 - ・水生生物調査 10回 9団体 14箇所 参加人数393人
- 環境教育推進事業
 - ・環境学習チャレンジブックの配布 小学校4校 396部
- 自然生物保護事業
 - ・ゼニタナゴ保護活動の支援

事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等

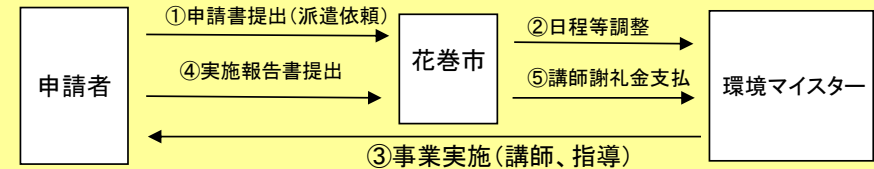
・環境マイスターの派遣により身近な自然に対する意識が変化したという意見が寄せられている。
 ・水生生物調査に参加した市民からは、水質汚染など環境問題への関心を高める良い機会である。環境を考えながら自然と親しむ貴重な体験になるとの意見が寄せられている。

担当部署 部名 生活福祉部 課名 生活環境課 担当係長 似内 泉 内線 255 (単位：千円)

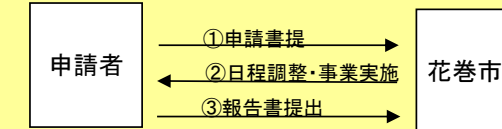
《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
 【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

環境学習推進事業

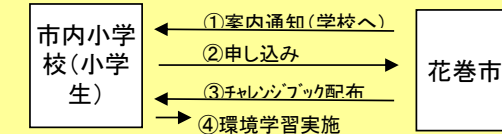
<環境マイスター派遣事業>



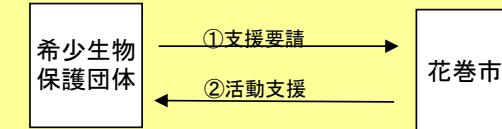
<水生生物調査事業>



<環境教育推進事業>



<自然生物保護事業>



【事業費内訳】

- ・環境マイスター派遣事業 67千円
環境学習会等実施の際の講師として環境マイスターを派遣
- ・水生生物調査事業 38千円
水生生物調査による河川等の水質調査及び環境学習の実施
- ・環境教育推進事業
自主的に環境学習を行う小学生に対し環境チャレンジブックを配布し、自然環境全般への理解を深める取り組みを支援
- ・自然生物保護事業 30千円
希少生物等の保護活動を行う団体等の活動を支援